症例　49歳　男性

【主訴】 みぎ下腿の腫脹

【現病歴】

X年5月、みぎ下腿の腫脹を自覚

X年6月、当院受診

【既往歴・家族歴】

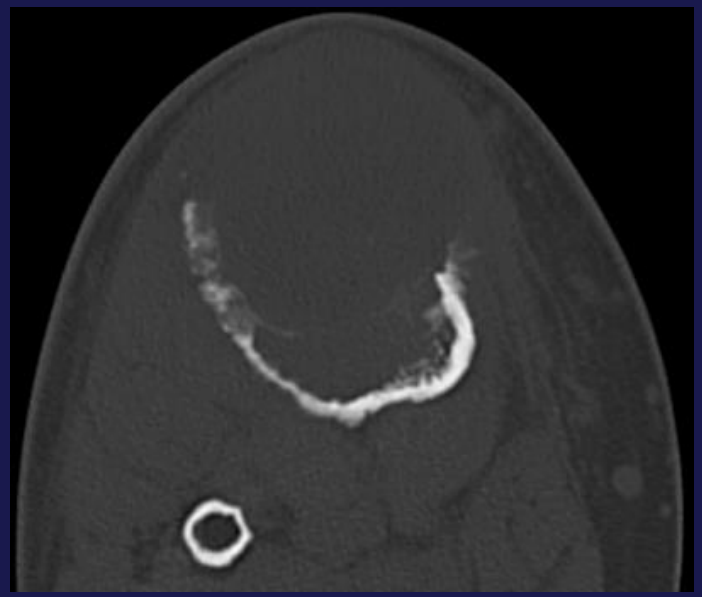
14歳時　みぎ脛骨骨折（非骨化性繊維腫の診断）

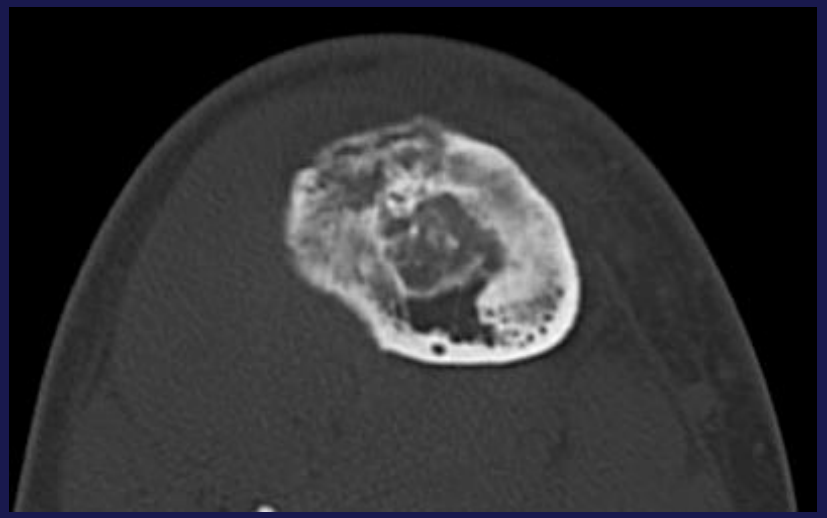
局所所見

- みぎ下腿前面
- 約10cm
- 皮下：軟　　深部：骨様硬
- 熱感あり
- 膝関節可動域：制限なし

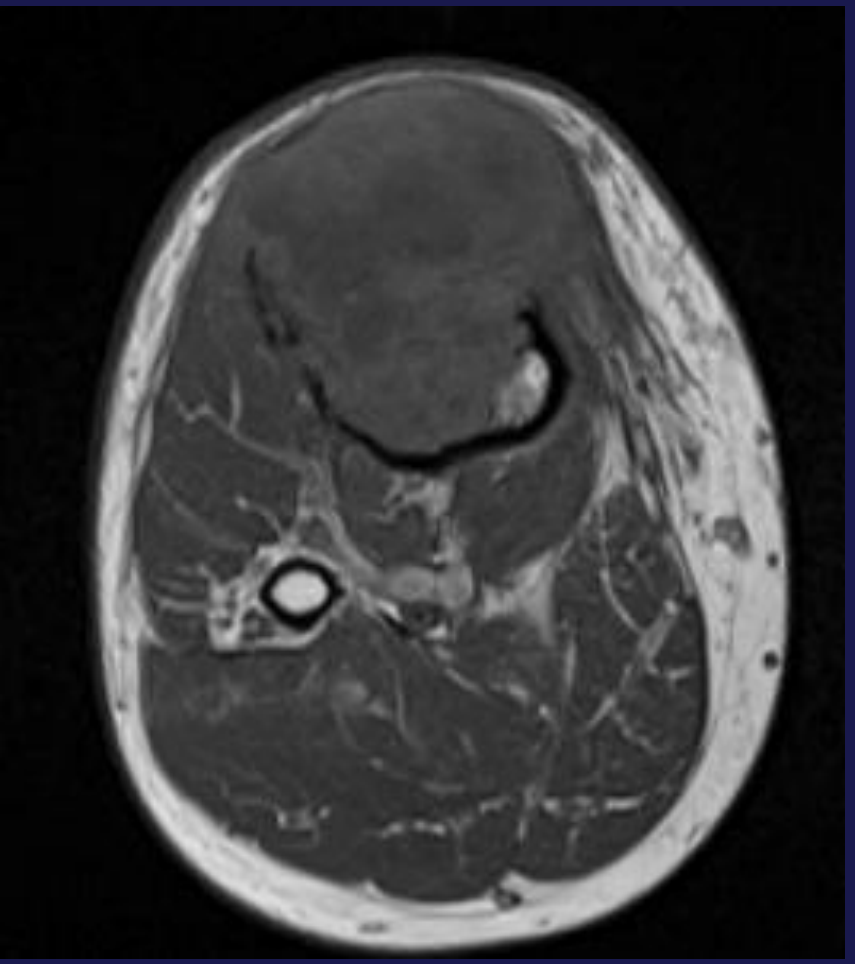
単純X線像

CT

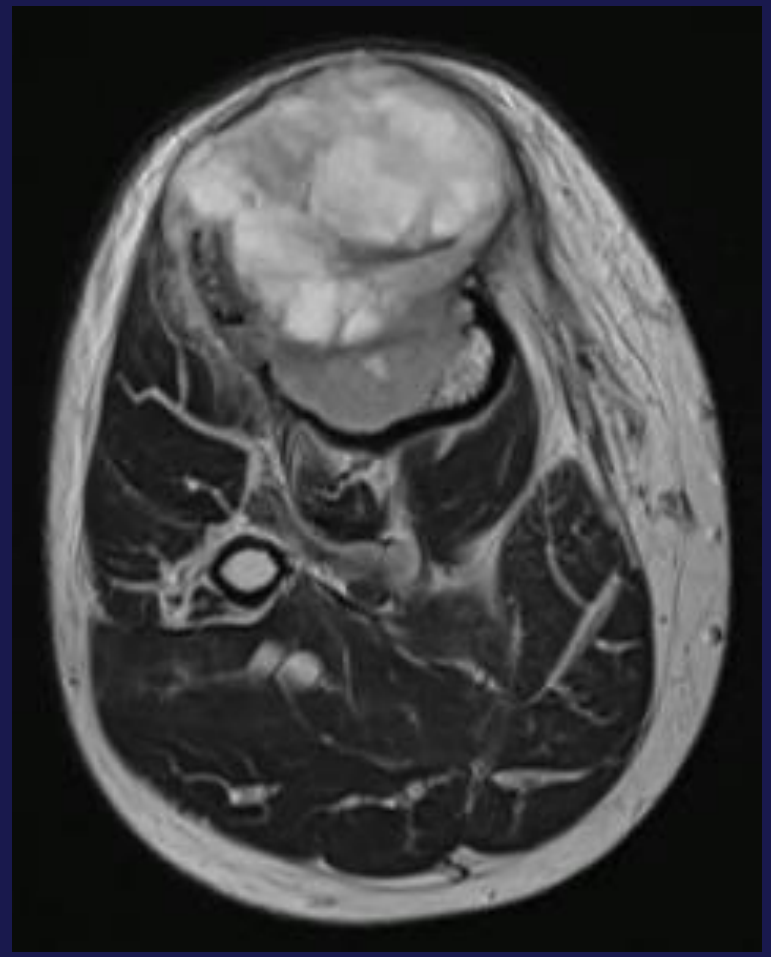




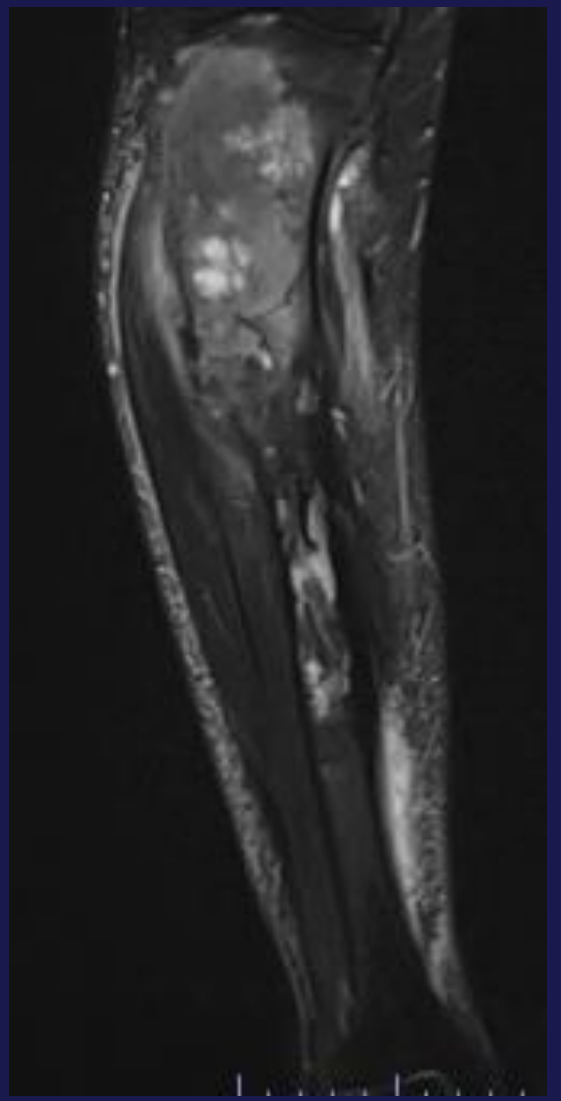
MRI



T1強調像

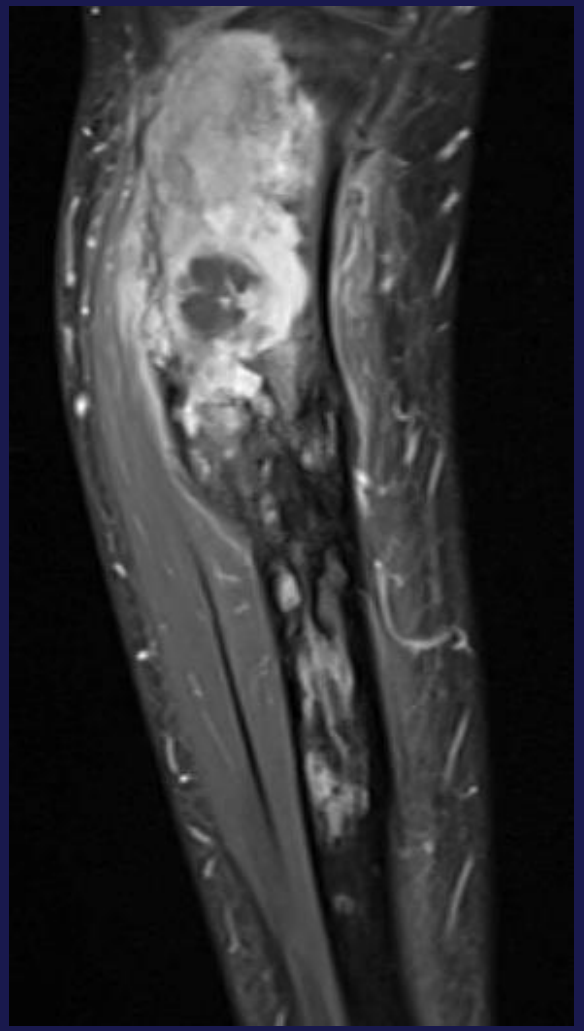


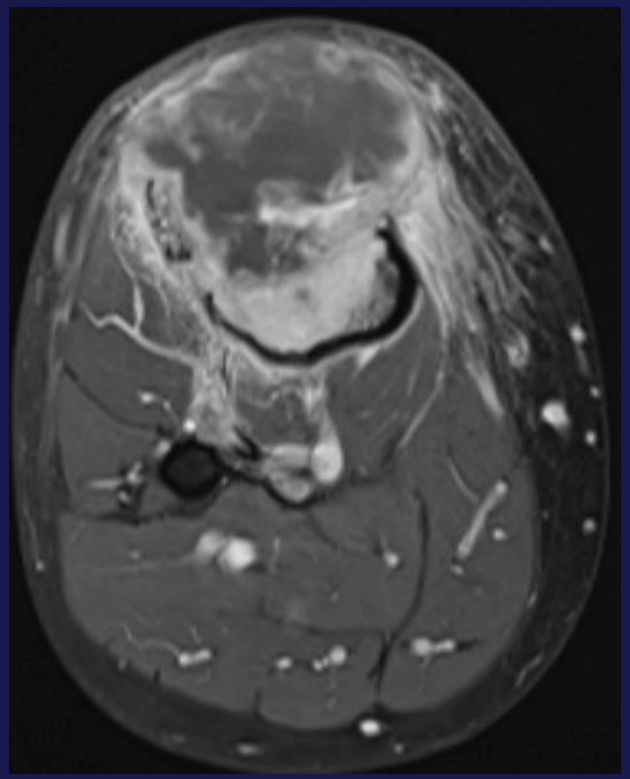
T2強調像



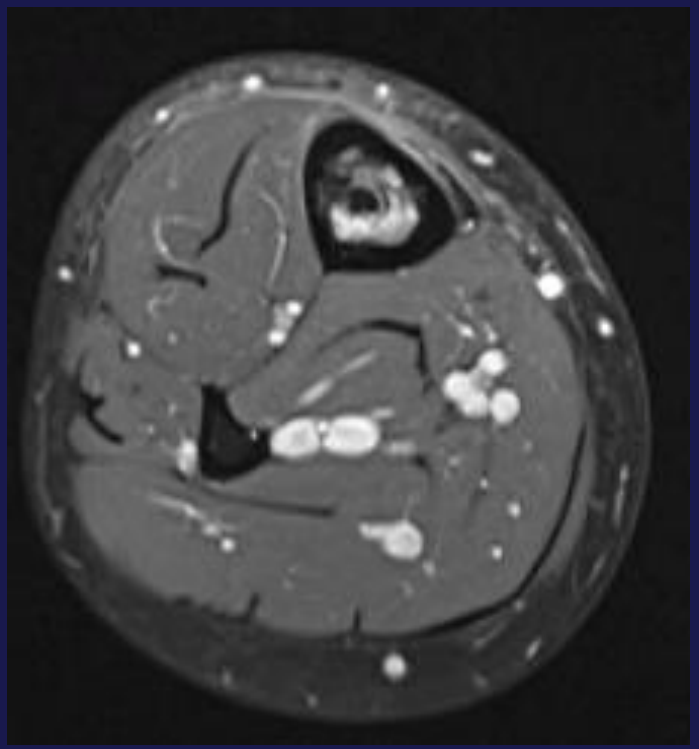
脂肪抑制

造影MRI





近位



遠位

造影T1強調像

FDG-PET/CT

- SUVmax=9.13
- 脛骨骨幹部にも集積あり
- 転移を疑う所見なし

画像診断

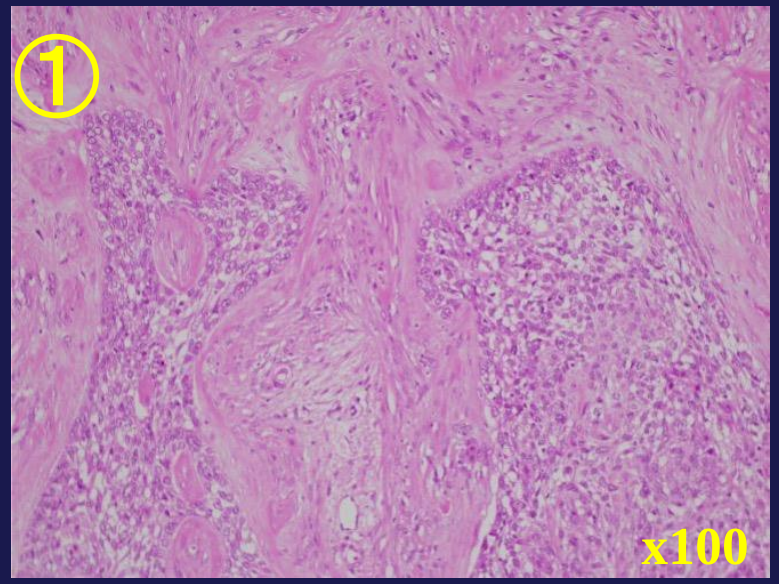
- アダマンチノーマ

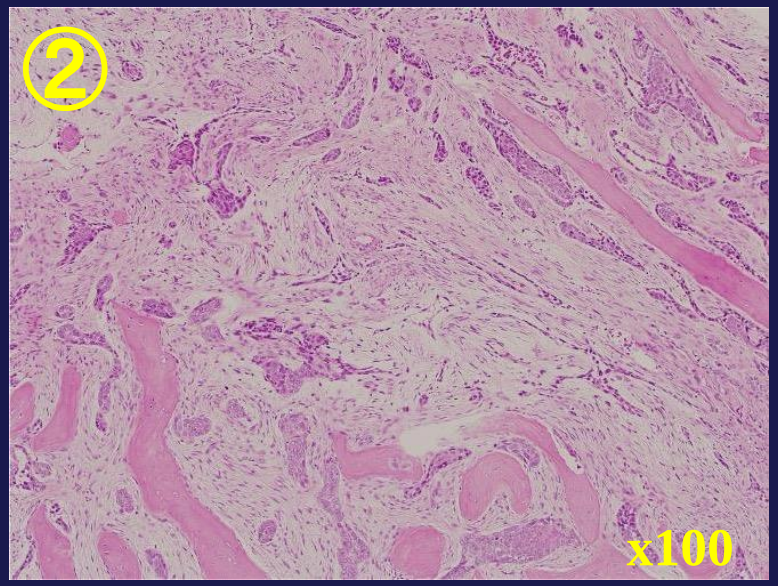
画像上の鑑別診断

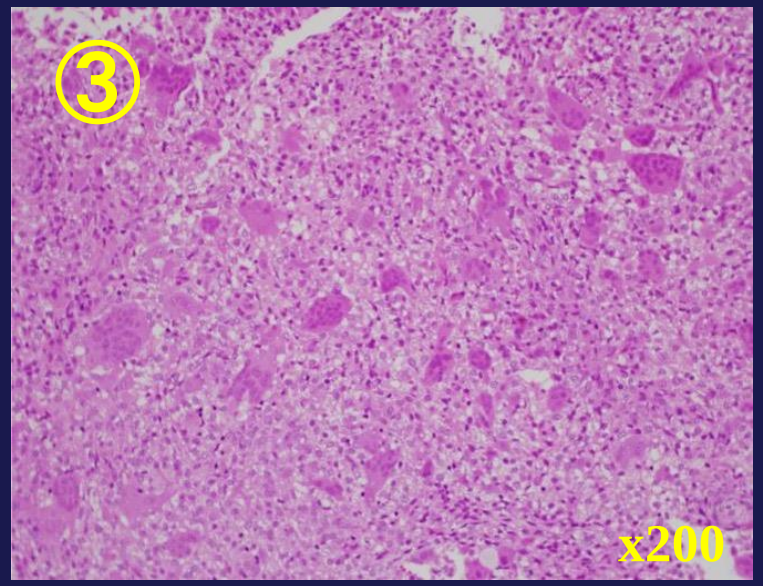
- 骨肉腫
- 骨線維性異形成
- その他の悪性骨腫瘍

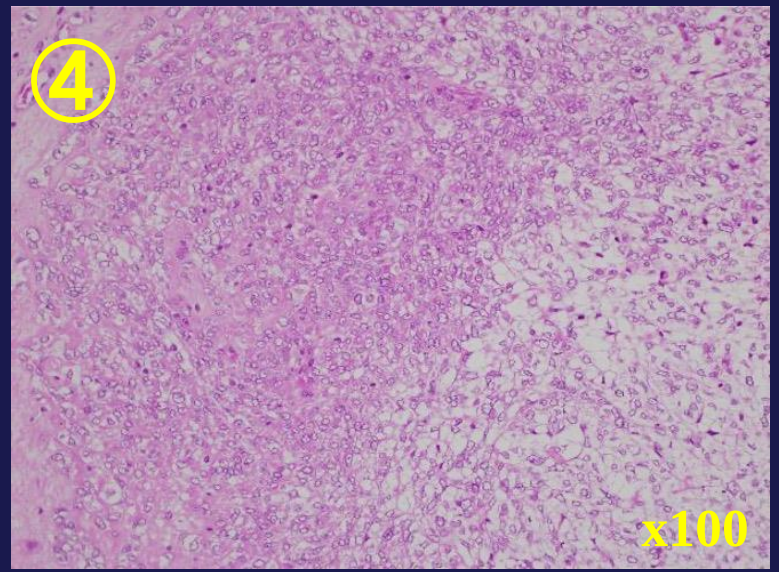
肉眼所見

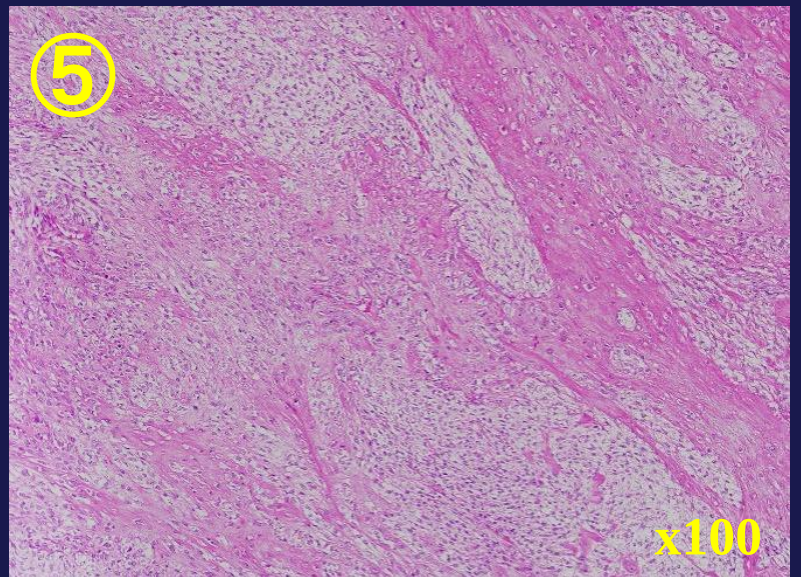
病理組織学的所見



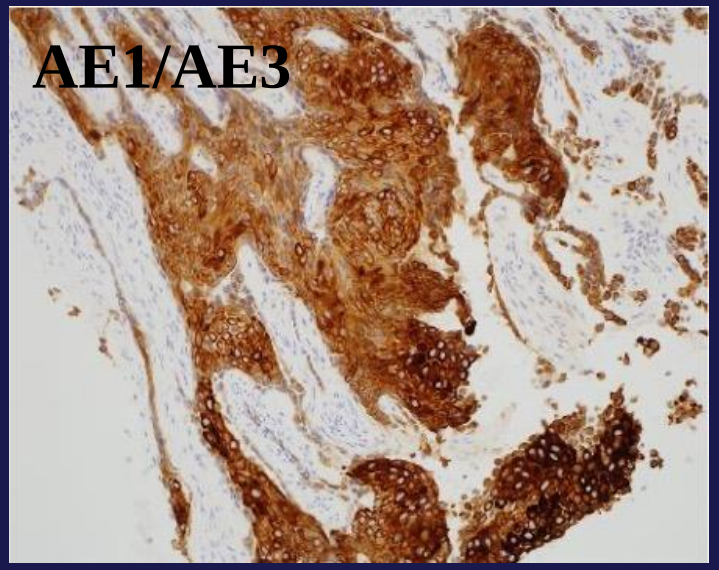


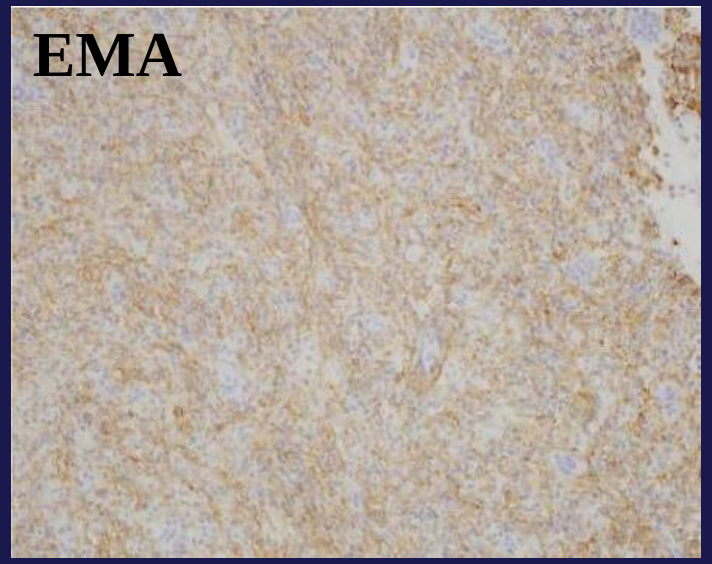


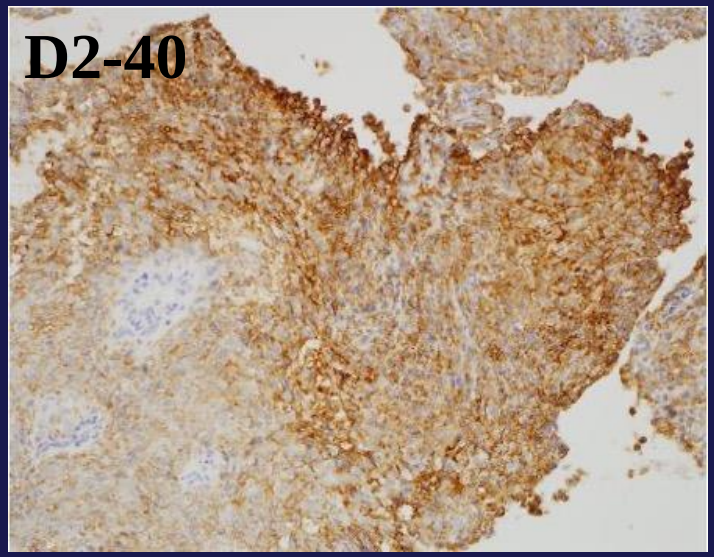


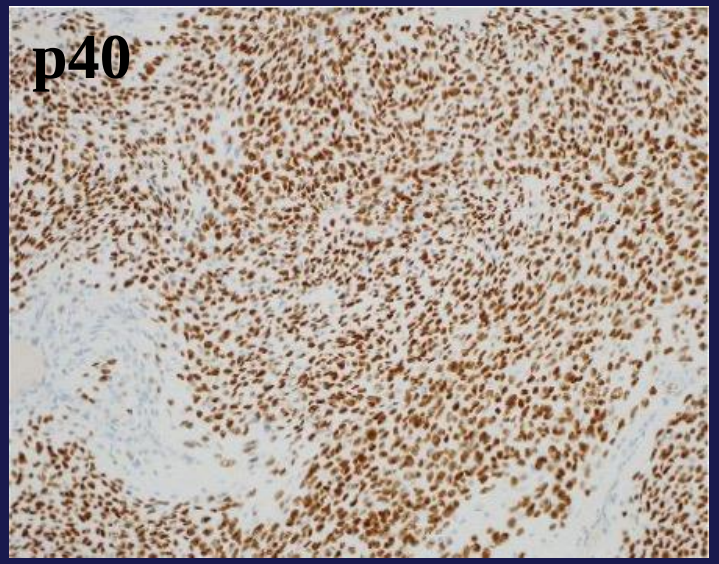


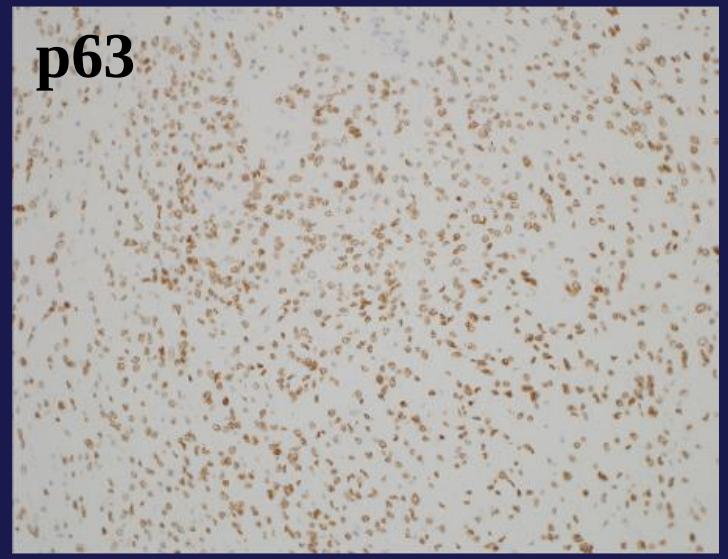
免疫染色所見

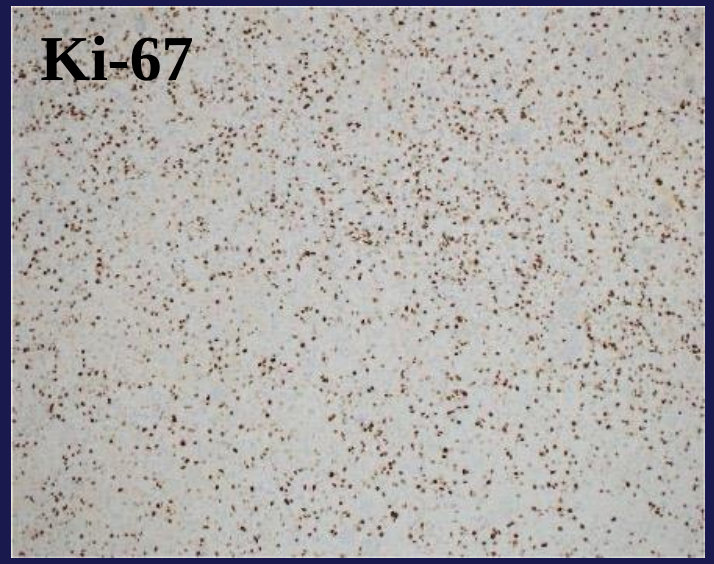












病理学的鑑別診断

- アダマンチノーマ
- ユーイング肉腫
- 富巨細胞型骨肉腫
- 未分化多形肉腫
- 破骨細胞型巨細胞に富む腫瘍
- その他

治療後の経過

- 術前化学療法（MAP療法）を併用
- 下腿切断術
- 術後6ヶ月で再発・転移なく経過している

本例が極めて興味深い症例であることの要点

- 脛骨骨幹部に特徴的な所見
- 巨細胞成分を豊富に含んでいる
- 小円形細胞や骨肉腫成分を含んでいる